

結婚・子育て支援等、未来に向けたまちづくり

子育て応援事業の推進

少子化が急速に進行する中、「子育て世代に安心して郡上に住んでいただき、たくさんのお子さんを育ててほしい」という願いから、平成25年4月2日以降に生まれた第3子以降のお子さんを対象として、小学校入学前までの6年間、毎年10万円の「郡上市共通商品券」を給付する「がんばれ子育て応援事業」を実施しています。

また、子どもの医療費を実質的に無料化する「乳幼児・小中学生医療費助成制度」、「高校生等医療費助成制度」により、お子さんが高校を卒業するまでの家庭にかかる負担軽減を図っています。

さらに、令和元年5月からは、出産・子育ての大変な時期を迎えられたお母さんに感謝と労いの気持ちを込めて、書籍と市長からのメッセージを贈る「すこやかママに感謝をこめて」事業を新たに開始しています。

出生数に対する第3子以降の該当する児童の割合は、平成25年度の18.7%から、平成29年度の19.3%と多くの子どもを育てている家庭の割合が増えています。

今後も、安心して子育てできるよう、子育て世帯への支援を充実させていきます。



子育て支援センターの開設

平成20年4月に子育て支援センターを開設し、子育て中の親同士が交流できる場の提供、子育てに関する悩みごと相談や講演会等の開催、情報誌やインターネットを活用した子育て関連情報の提供など、子育てに関する支援を幅広く行っています。

“まめっこくらぶ”や“赤ちゃんふれあい体験”の実施、郡上市商工会と連携した“赤ちゃんの駅”整備の推進や、中部学院大学と連携した“くじょうファミリーフェスタ”の開催など、関係機関と連携し子育て支援の充実に取り組んでいます。

赤ちゃんの駅は、市役所各庁舎の他、観光施設や駅、スーパーなど、お母さんが安心して赤ちゃんを外出ができるよう整備を進めています。

平成27年1月に発表した“郡上っ子応援宣言”である「日本一住みたいまち、子育てしやすいまち」の実現を目指して、引き続き子育て支援事業の充実に取り組んでいきます。



障がいのある子どもたちへの支援

現在、市が運営する2か所の子ども発達支援センターでは、成長発達が気になる乳幼児から小学生までを対象に一人ひとりの発達状態に合わせて療育指導を実施しています。

例年、約100名のお子さんが通所し、支援を必要とする子どもの各ライフステージにおける途切れない支援体制に取り組んでいます。

今後は、さらに充実が求められている就学児の通所支援事業についても、関係機関と協議検討しながら受け入れ体制を整備します。

また、障がいの重いお子さんを含め、障がいの別に関わらず、家族が安心して地域での生活を継続できるよう、他職種とも連携しながら、適切で質の高い支援が受けられる体制を目指します。



結婚相談所「マリアージュ郡上」の設置・運営

市が運営する結婚相談所として「マリアージュ郡上」を設置しています。結婚相談員は、相談者とともにプランと目標を立て、出会いの支援をしています。

また、屋外でのBBQやアクティビティを通して、男女の仲を深めるための婚活イベント等を開催し、出会いの機会の提供も行っています。

その他、市内で結婚を希望する方を少しでも後押しするために、地域全体で婚活を盛り上げる「郡上婚活応援団」を結成し、市民や企業等から支援者を募集しています。婚活応援団の活動は、ボランティアで行われ、未婚者へのマリアージュ郡上の紹介や婚活イベントの周知、支援等にご協力いただいています。



消防団員婚活イベントの開催

消防団員は、普段はそれぞれの仕事を持ちながら、火災が発生した際は消火活動に従事し、その他にも地域の見回りや啓発活動など、地域の安全・安心のため、夜間休日を問わず活動に励んでいます。そうした男性消防団員の出会いの場を創出することを目的として、消防団員婚活イベントを開催しています。

これまでに平成28年度は5組、平成29年度は3組、平成30年度は5組のカップルが誕生しました。

参加団員が積極的に会話に参加できるような雰囲気作りや、イベントが盛り上がるよう工夫しながら開催していきます。

赤ちゃんにやさしい病院としての取り組み

郡上市民病院は、市内唯一の産科施設として、健やかな親と子の基本的信頼関係が形成できるようWHOが推奨している母乳育児について積極的に取り組み、「赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital)」の認定を受けました。

この取り組みにより母乳栄養率の向上、退院後の母乳育児の相談や支援体制の充実を図ることができました。

今後も、それぞれのお母さんのニーズに応じた支援を行うとともに母乳育児の推進を継続していきます。

